

# その場にいた人の勇気が命を繋ぎました

～2026年2月くじゅうスキー場で起こった「救命の連鎖」の物語～



## 「絶え間ない胸骨圧迫と AED の連携」

「リフト上で突然意識を失い、心肺停止となった男性に対し、スタッフと居合わせた人々が即座に連携。心肺蘇生法と自動体外式除細動器（AED）を使用し、救命措置が行われました。スキー場は消防署から距離があり、救急車到着まで時間を要する状況でしたが、救急隊が到着した時には、男性の呼吸と意識は回復していました。」

「救急車が到着するまでの空白の時間。」

あなたにしか救えない命があります。」

## 「救命講習のご案内」

あなたもいつ、このような状況に立ち会うか分かりません。

いざという時のために、心肺蘇生法と AED の操作法を身につけませんか？

筑紫野太宰府消防本部では定期的に救命講習を開催しています。

詳しい内容・申込み方法はこちらから

▶ 申込